

第二十三回農業戦略本部

令和4年7月20日

会議録

場所	市役所 10階 委員会開催室
参加者	参加者 : 副市長、山形市農業委員会 会長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、女性農業者、山形大学農学部 教授、やまがた農業支援センター 副理事長 事務局 : 農林部長、農政課長、農政課長補佐、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、就農・経営支援係長、6次産業推進係長、 オブザーバー : 山形市土地改良区連合会 会長、JA 全農山形 山形・置賜地区担当 次長

○副市長より

本日は、大変お忙しい中、第23回山形市農業戦略本部会議にご出席賜り、誠にありがとうございます。今年につきましては、春先の降霜による被害はなかったものの、さくらんぼの収穫時期に高温が続いたことによりまして過熟が進んで、出荷できなかったケースがあるなど、異常気象による農産物への被害が確認されております。また、前回3月の戦略本部におきまして、株式会社MOGITATEの北河社長より講演の後、農業DXについて、ご決議いただいております。こうした中、山形市では、両農協、全農山形様、土地改良区様のご協力のもと、今年度から3か年事業で、総務省のデジ田交付金を活用したスマート農業実装事業を実施することとしております。農業DXは、労力軽減、生産性の向上、技術やノウハウのシステム化など、高齢化、担い手不足となっております現状を打開するとともに、データ活用などにより、天候など様々な要因から農作物を守ることが期待されます。このスマート農業実装事業を契機とし、全農山形、両農協、土地改良区の皆様からご協力をいただきながら農業DXを山形市全体へ広げ、持続可能な農業振興を図っていきたくと考えております。さて、本日の会議では、地域農業経営基盤強化促進計画とみどりの食料システム戦略につきまして東北農政局様よりご説明いただいた後、農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画についてご協議いただくほか、第六次の山形市農業振興基本計画の中間見直しに係る進捗状況や、先ほど申し上げましたスマート農業実装事業についてご報告申し上げます。山形市が将来にわたりまして農業振興を図る上で、いずれも重要な内容でございますので、皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願いたします。

1 議題

【討議事項】

『地域農業経営基盤強化促進計画について』

『みどりの食料システム戦略について』

【決議事項】

『農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画について』

【報告事項】

『第6次山形市農業振興基本計画の中間見直し及び数値目標の進捗状況について』

『スマート農業実装事業（デジタル田園都市国家構想推進交付金）について』

【討議事項】

『地域農業経営基盤強化促進計画について』

○東北農政局から、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・農業委員、農地利用最適化推進委員の業務が増加する。関係機関の支援が必要。行政から制度周知を行ってほしい。
- ・地域計画策定までのスケジュールが2年では短い。
- ・地権者、耕作者が納得できるような、地域計画の区域の定め方、基準を考えてほしい。

『みどりの食料システム戦略について』

○東北農政局山形県拠点から、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

- ・化学肥料の代替として堆肥を使うと、コスト、労働力の増が懸念されるが、国の補助の活用や、有機肥料の共同生産等を検討いただきたい。
- ・消費者は無加温で育てた生産物に好印象のようだが、付加価値として価格に反映できない。
- ・環境保全型の生産をした際の所得の減少に対しての補助についても検討してほしい。

【決議事項】

『農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画について』

- ・原案どおり決定

【報告事項】

『第6次山形市農業振興基本計画の中間見直し及び数値目標の進捗状況について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

『スマート農業実装事業（デジタル田園都市国家構想推進交付金）について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。